



# 風の子

ホームページ <http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/youchien/ogu/>

平成31年1月31日  
荒川区立尾久幼稚園  
園長 小島 武志

## 子ども達の無限大な発想や表現

園長 小島 武志

### 教育目標

- 元気で明るい子
- よく考え、すすんで行動する子
- 思いやりのある子

「一（いち）月は行（い）く。二（に）月は逃（に）げる。三（さん）月は去（さ）る。」とよく言われますが、それほどあっという間に過ぎてしまうこの3ヶ月、今年も早くも1月が過ぎ、暦の上ではもうすぐ春です。子ども達も慌ただしさを感じながらも、様々な『素敵な今』を体験しています。

21日（月）は、全園児でプーク人形劇場へ行き、人形劇「ねこのてかします」と「とらのこもりうた」を鑑賞しました。子ども達は、絵本の読み聞かせを聞いているときのようにすーっと劇の世界に入り込んで、目を輝かせて観ていました。笑いあり、ドキドキあり、とても楽しんでいました。

24日（木）は、みんな初めての体験、ホールでアフリカンダンスを鑑賞しました。太鼓やシェケレ（マラカスのような音を出す楽器）のリズムに合わせた歌声が聞こえてくると、自然と手拍子を鳴らし、楽しそうに体を揺らす子もいました。ダンスの鑑賞だけでなく、子ども達も先生達もアフリカンダンスを教えてもらい、リズムに合わせて踊りました。園長は、太鼓の音に合わせてシェケレを鳴らしました。子ども達のダンスは、躍動感ある元気な踊りで、保育室に戻っても、余韻覚めやらずアフリカンダンスを踊っていました。とてもとても楽しくなり、体も心も元気になるアフリカンダンスでした。

そしてそら組は、1月29日・31日の二日間で東京藝術大学との連携事業「おぐようアート」を行いました。第1回目は、「ワリンバ ～割って探そう自分の音と形～」というテーマで、スギの木の丸太をクサビと木槌で割って鍵盤状の板にし、板を叩きながら自分の気に入った音を探し、自分だけの楽器を制作しました。第2回目は、今月11日（金）に東京藝術大学へ行き、各科研究室・作業場を見学させてもらい、また美術展覧会も鑑賞させていただきました。そして、今回で3回目、東京藝術大学大学院美術課 准教授 國司華子先生をお迎えしての「おぐようアート」です。今回は、『たためるぼく、のびるわたし』をテーマに、等身大の自分をつくりました。正面から見た自分の姿と、後ろから見た自分の姿（もう一人の自分）を柄の長い絵筆を使い、絵具で描きました。制作時間は約1時間半、子ども達は鏡を見ながら2色の色を自由に扱いながら自分を描いていました。見ていると、本当に迷いのない線でのびのびとダイナミックに、そしてじっくりと描いていました。教育者としては、この感覚を失わせないように、そして、さらに伸ばしているいろいろな場面で表現させたいと思った瞬間でした。



保護者の皆様には、尾久幼稚園の教育に関するアンケートを取らせていただきましたが、質問項目「尾久幼稚園のよいところ」で、次のようなお言葉をいただきました。「先生と親同士何でも話せる環境であること。一緒に育てていきましようとの気持ちで幼稚園側がいてくれるので、親はとても心強いです。」と。常に子ども達が経験する素敵な今を保護者と園で共有し、共育していける関係でありたいと思います。この他にもたくさんのお褒めのお言葉をいただきました。ありがとうございました。

## 2月のねらい

### 《3歳 たんぽぽ組》

- ・寒さに負けず、戸外で体を動かして遊ぶ。
- ・自分なりの動きを出し、のびのびと表現することを楽しむ。

### 《4歳 うさぎ組》

- ・思いや考えを出し合いながら、友達と遊びや活動を進めることを楽しむ。
- ・友達と気持ちを合わせて一緒に表現する楽しさや、学級のみんなで取り組む楽しさやつながりを感じる。

### 《5歳 そら組》

- ・友達と共に過ごす喜びを味わい、自分たちで遊びや生活を進める充実感を味わう。
- ・自分の成長を感じ、主体的に取り組み、就学への期待をもつ。

## 早春の光の中で遊ぶ 風の子たち！

### <年少・たんぽぽ組>

赤土小学校の校庭で風揚げをし、体がぽかぽかするくらい思い切り走って楽しんでいた子供たち。「見ててね。」「いっぱいあがったよ。」と嬉しそうに伝えてくる姿がたくさん見られました。

室内遊びでは、メモリーカードや絵合わせカードを、友達や教師と一緒に繰り返し楽しんでいきます。雪についての絵本を見て、「雪が降ったらいいな。」と話す姿や「雪だるま作りたい!」と思いを伝えてくる姿も見られました。そこで、子供たちと雪だるま作りをし、“一人一人が作った雪だるま”と、“みんなで作った、どんぐりの目が素敵な立体雪だるま”が出来上がりました。今では、遊びの時間に「雪だるまさん、行こう!」と一緒に遊んで楽しんでいきます。

園庭で育てていたかぶも実り、「うんとこしょ、どっこいしょ。」と抜いて、味噌汁にいただきました。「みんなで食べると美味しいね。」と収穫の喜びを感じていました。今月も、友達同士で遊ぶ楽しさをより感じられるように援助していきます。

### <年中・うさぎ組>

冬休み明け、「上手に回せるようになったよ!」「誰が長く回せるか競争しよう」とこまを得意げに回して見せてくれました。また、赤土小学校の校庭に風揚げにも行きました。糸を長く伸ばして走ると風が高く揚がる様子を見て、嬉しそうに何度も繰り返し走ったり、走り終わると「あー、暑くなっちゃった」と上着を脱いで水分補給をしたりしていました。他にも、全員参加のカルタ大会を行ったりして、お正月遊びを楽しみました。

2学期から栽培しているヒヤシンスの花が咲いたことを喜び、香りを楽しんだり「次はどの球根が咲くかな?」と観察したりと、生長を楽しみにする姿も見られます。

子ども会に向けて、楽器に触れる機会が多くなり、リズムが揃うと満足そうな表情が見られます。また、絵本を見ながら劇の中で必要そうな物を作ったり「この役がやりたい」と話し合ったりする姿も見られます。一人一人の表現を認め、子供たちが学級のみんなで一緒に活動する楽しさを味わいながら、自信をもって取り組めるよう援助していきます。

### <年長・そら組>

3学期になり、こま回しやけん玉など、できるようになったことに自信をもって取り組んだり、繰り返し挑戦したりする姿が見られるようになりました。「見て!できたよ!」と嬉しそうに教師や友達に知らせたり、「やったねー!」「すごい!」と友達ができるようになったことを一緒に喜んだり、「どうやってやるの?」と上手な友達に聞いたりしています。また、お手玉や竹馬などに新しく挑戦する姿も見られ、友達と一緒に一生懸命取り組んでいます。

年が明けて、「もうすぐ小学生になるんだよね。」「私は〇〇小学校へ行くよ。」など、子供たちから就学を意識する言葉がたくさん聞こえてくるようになりました。東尾久保育園の年長児との交流や、年中児への係活動の引き継ぎなどをする中で就学への期待をもったり、自分たちで遊びや生活を進めていく充実感を味わったりできるよう、援助していきます。